

令和8年度予算見積調書

課室名: 森づくり課
担当名: 総務・森林企画担当
内線: 4313

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P84	森がつなぐ山とまちの未来事業			一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	森林計画推進事業費	
事業期間	令和3年度～ 令和10年度	根拠法	森林・林業基本法、森林法	針路分野施策	1001	10	豊かな自然と共生する社会の実現 みどりの保全と創出	SDGsゴール SDGsターゲット	15, 17 15-1, 15-2, 15-4,

1 事業概要	5 事業説明
森林の公益的機能を持続的に維持・発揮していくため、森林の恩恵を受けている県民全体が協力し合いながら適切に森林の整備をしていくことが必要である。 市町村が森林環境譲与税等を活用し、都市部と山側の市町村が相互に連携して、森林の整備や木材利用を進めるため、『埼玉県山とまちをつなぐサポートセンター』を運営し、市町村間の協定締結等への支援を行う。	(1) 事業内容 地域間連携森林整備等促進事業 5,509千円 市町村が相互に連携して山側の森林の整備や都市部での木材利用を進めるため、県が「埼玉県山とまちをつなぐサポートセンター」を運営し、市町村間の協定締結への支援を行う。
地域間連携森林整備等促進事業 5,509千円	(2) 事業計画 地域間連携森林整備等促進事業 ア 埼玉県山とまちをつなぐサポートセンターの運営 イ 県内市町村等の要望調査等 令和3年度～令和10年度
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	(3) 事業効果 山側市町村の森林の整備と都市部市町の木材利用の促進による森林の多面的機能の発揮 【活動指標(アウトプット)】組み合わせ検討市町村数14市町村、組み合わせ提案市町村数7市町村、協議10回 【成果指標(アウトカム)】都市と山村の連携による森づくりが進む、市町村譲与税が有効に活用される 森林の整備面積 12,500ha(令和4年度～令和8年度) (3,936ha(令和4年度～令和6年度))
3 地方財政措置の状況 なし	(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 都市部の市町が山側の市町村の森林を整備するなど、市町村間の連携した森林整備の仕組みを構築する。
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円	

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		繰入金						
決定額	5,509	5,509					0	△68
前年額	5,577	5,577					0	

事業内訳書

事業名	森がつなぐ山とまちの未来事業		
単位事業名	地域間連携森林整備等促進事業	予算額	5,509千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 森林環境譲与税基金繰入金	5,509	△68	
合計	5,509	△68	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	77	0	市町村との打ち合わせ 40回分
需用費	73	0	消耗品費
役務費	28	0	送料
委託料	5,313	△68	埼玉県森がつなぐ山とまちの未来事業委託料
使用料及び賃借料	18	0	マッチング相談会等会場使用料
合計	5,509	△68	